

クルト・カチョッポ Curt CACIOPPO

1951年生まれ。作曲家、ピアニスト。オハイオ生まれで、ケント州立大学及びブロッサム・フェスティバル・スクールで学び、ニューヨーク大学とハーヴァード大学で学位を取得した。レオン・キルヒナー、アール・キム、イヴァン・チェレプニンに師事。エマーソン弦楽四重奏団、アメリカン・カルテット、ヴェネチア四重奏団、ミルウォーキー交響楽団、シカゴ交響楽団などのために作品を作曲した。1997年に、アメリカ芸術文学アカデミーから、生涯の業績をたたえられた。カチョッポの音楽は、Capstone Records、MSR Clascicsに録音されている。これまでに、作品は、ロッホバーグ、アラウコ、ハドソン、ウォード、ボルコム、バラテッロなどの作品を初演している。イタリアで演奏活動することも多く、ドイツでもしばしばメディアに掲載される。たとえば「バイエルン・ツバイ」でインタビューが放送された。ノヴァは、コスタリカ、カナダ、英国、フィンランド、ロシア、スペイン、フランスなどでも作品が上演されている。2008年には、パシフィック・シンフォニアとテアトロ・コローンが、作品初演のホスト役に立った。教師としての生涯は、ハーヴァード大学で開始し、1983年にはハーヴァーフォード大学の教師陣に加わった。